

FURUNOの
環境・社会
貢献活動



「海の甲子園／西宮セーリングカップ」に特別協賛

8月27日(土)と28日(日)の2日間、兵庫県の西宮沖で第8回「海の甲子園」ユースセーリングカップならびに西宮セーリングカップが同時開催されました。本大会は、ヨット文化の育成を目的として、毎年夏に開催されています。当社は第1回からこの大会に特別協賛し、今後の活躍が期待される選手に「FURUNOカップ」を継続して提供しています。



中高生はもちろん、国体級の選手による熱戦が繰り上げられました。



今年8月のリオデジャネイロ・オリンピックでは、本大会に過去出場した吉岡美帆選手がセーリング女子470級で5位入賞しており、今後も本大会から未来のオリンピック選手が育つことが期待されます。

環境・社会貢献活動に関するより詳しい情報はこちら ▶▶▶ <http://www.furuno.co.jp/corporate/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	株主名簿管理人および 特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会 基準日	毎年5月開催	同 連 絡 先 (お 問 い 合 わ せ 先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間：土・日・休日を除く9:00～17:00)
定時株主総会 期末配当金 中間配当金	毎年2月末日 毎年2月末日 毎年8月31日	お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。		特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp/)	未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
単元株式数	100株		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部		



表紙絵画：須磨はじめ
マリンギアライター。自ら描く
著書の挿絵から水彩画の世界
へ。プレジャーボートを素材に
した作品が多い。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

 古野電気株式会社
<http://www.furuno.com>



「横浜みなとみらい21界隈」(横浜)

成長市場の開拓、販売拡大を継続し 好不況の波に強い企業を目指します

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気の回復が進みました。米国では、雇用や個人消費が堅調に推移したことに加え、企業業績も改善し、緩やかながら経済の拡大基調が続きました。欧州でも、国ごとに好不況は異なるものの、全体では徐々に景気が回復しつつあります。欧米の状況に反してアジア経済は、中国で景気が減速し、その他のアジア諸国も伸び悩む傾向がみられました。わが国経済も、雇用・所得環境が改善し、個人消費に回復の兆しがみられたものの、円高などによって輸出・生産が振るわず、景気回復の動きには弱さがみられました。

そうした中、当社グループの関連する市場では、新船建造の需要は伸び悩んだものの、プレジャーボート市場で小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。

当該期間の米ドルおよびユーロの平均為替レートはそれぞれ116円、125円で、前年同期に比べ米ドルは約3%、ユーロは約8%の円高水準で推移しました。

このように、経済状況がやや厳しさを増す中、当社グループは成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組みました。その結果、主力の船用事業では国内の売上が増加しましたが、海外では円高の影響を受け、商船および

代表取締役社長
古野 幸男

漁業市場向けの売上が減少しました。一方、産業用事業ではETC車載器などが好調で、事業全体での売上也増加しました。

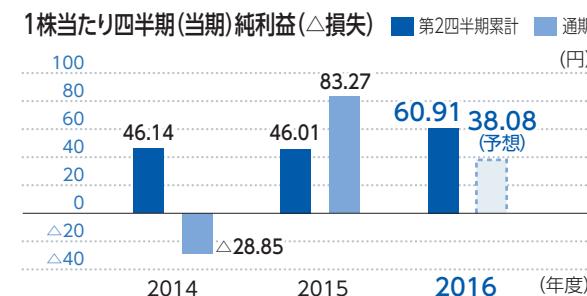
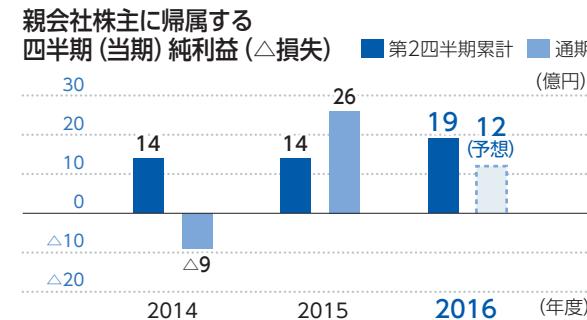
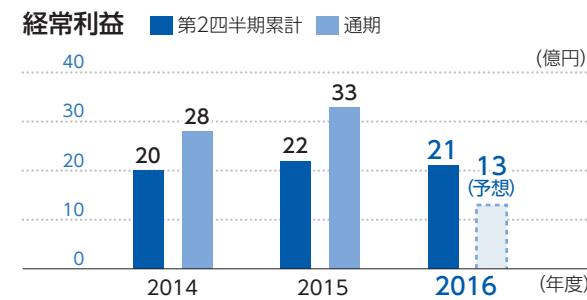
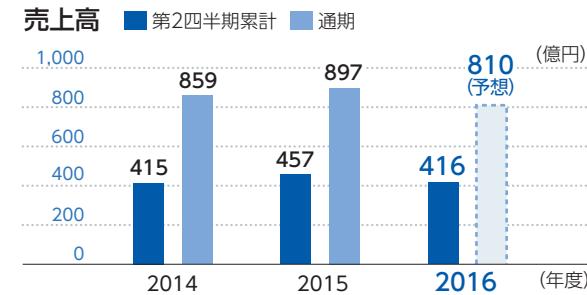
これにより、当社グループの売上高は416億8千3百万円と前年同期を下回りましたが、事業環境の悪化を踏まえて経費の削減に努めたことや円高により、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は23億8千9百万円と前年同期より大幅に増加し、経常利益も21億3千万円と減少幅を抑えることができました。また、前年同期に計上した防衛省に対する過大請求関連での特別損失が今期は発生しなかったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益も19億1千9百万円と大幅に増加しました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年11月

配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり4円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり4円(年間配当金は1株当たり8円)を予定しております。



四半期連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 2015年3月1日から 2015年8月31日まで	当第2四半期 2016年3月1日から 2016年8月31日まで
売上高	45,774	41,683
売上原価	30,475	26,729
売上総利益	15,298	14,953
販売費及び一般管理費	13,348	12,563
営業利益	1,949	2,389
経常利益	2,236	2,130
税金等調整前四半期純利益	1,796	2,110
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	1,919

四半期連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)

科目	前期末 2016年2月29日現在	当第2四半期末 2016年8月31日現在
流動資産	60,364	56,681
固定資産	18,100	18,083
資産合計	78,464	74,764
流動負債	29,041	25,211
固定負債	12,841	13,487
負債合計	41,883	38,698
純資産合計	36,581	36,066
負債及び純資産合計	78,464	74,764

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 2015年3月1日から 2015年8月31日まで	当第2四半期 2016年3月1日から 2016年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△511	6,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,352	△1,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,120	△2,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,800	11,424

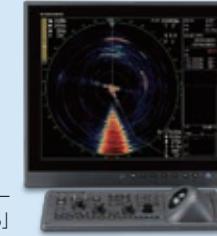
*連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

船用事業

売上高 327億円

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



全周型カラーレスキャニングソナー [FSV-25]

- 為替の円高による影響などもあり、商船市場向けの売上がアジアを中心に海外で減少しました。
- 漁業市場向けの売上も、アジアを中心に全ての地域で減少しました。

産業用事業

売上高 71億円

主な製品

- 医療機器
- GPS機器
- ETC車載器



GPS付き発話型ETC2.0車載器 [FNK-M100]

- ETC車載器、周波数発生装置、骨密度測定装置などの売上が増加しました。
- カーナビゲーションシステム搭載用GPSモジュールは、低調でした。
- 生化学自動分析装置は、中小型の売上が増加しましたが、大型が減少し、全体でも売上が減少しました。

その他

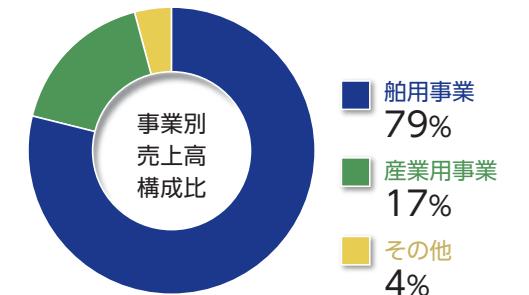
売上高 17億円

主な製品

- 無線LAN機器
- 無線ハンディターミナル



無線LANアクセスポイント [ACERA 1020]



FURUNO+ 製品紹介+ 14

GNSS自動変位計測システム

地盤などのわずかな変位を自動で計測。危険性をいち早く検知し、安全・安心を支えます。

GNSS自動変位計測システムは、GNSS*の技術を用いて、地盤や構造物の変位を計測し、その状態を長期にわたって遠隔で自動監視するシステムです。地上に設置した複数のGNSS受信機で衛星からの電波を同時に受信し、わずかな変位をミリメートル単位で捉えます。当社のシステムは、その高い精度や耐久性が認められ、地盤(火山、地すべり、のり面など)の監視や土木構造物(ダム、橋梁、トンネルなど)建設工事時の変位計測など、日本各地で活用されています。

*GNSS: 全地球航法衛星システム (GPS、QZSS、GLONASS、Galileoなど)

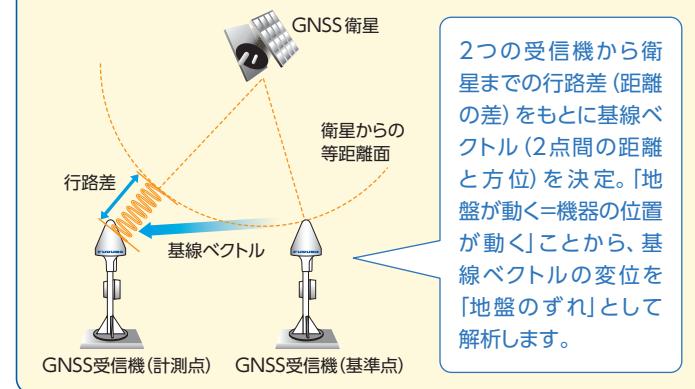


GNSS自動変位計測システム DANA (ダーナ)*

従来機種より計測性能を向上させながら、低コスト化を実現。GNSS受信部には、当社の最新モデルのGNSS受信チップを搭載しています。また、小型・軽量で、ソーラーパネルを用いた自立電源を標準装備しているため、簡単に設置・運用が可能です。

*由来: 1. ケルト神話における大地の女神
2. Displacement ANalysis system

GNSS計測の原理



「無線技術」で社会を支える フルノシステムズ

当社の子会社・フルノシステムズでは、船舶用の電子機器で培った「無線技術」をもとに、情報端末機器の開発・製造・販売を行っています。そして今、同社では、社会の変化とともに拡大する新たなニーズに応える製品・サービスの展開を進めています。



「無線LAN」の普及とともに 市場から求められる製品・サービスも変化

フルノシステムズでは長年、企業向けの「無線ハンディターミナル」を主軸として事業を展開してきました。しかし、無線LAN (Wi-Fi) の普及を背景に、近年では「無線LANアクセスポイント」を軸とする事業が成長・拡大しています。スマートフォンやタブレット端末を持つ人が急増

し、家庭や街中でもごく自然にWi-Fiを利用するようになったことで、こうした機器の利用者に独自のサービスやコンテンツを提供したいと考える企業や団体が増えているのです。そして、フルノシステムズには、両者を「WiFiで確実につなぐ」という役割が求められています。

フルノシステムズの製品

■無線ハンディターミナル

無線LANシステムを使って情報を一元管理し、業務支援を行うための端末。物流倉庫やショッピングセンター、生産現場などで、作業状態や商品データをリアルタイムに管理するのに役立っています。



■無線LANアクセスポイント

街中でも無線でインターネットが使える環境を構築する装置。駅やカフェのほか、外国人観光客を迎えるホテルや観光地、学校や塾などの教育現場でも需要が高まっています。



「業務用」で培った「メイド・イン・ジャパン」の 品質を強みに評価を獲得

「無線LAN」を取り巻く市場環境が大きな変化を遂げるなか、従来は主に外資系メーカーが市場を牽引してきました。そこへ「国産メーカー」として参入したのが、フルノシステムズです。長年にわたり、物流倉庫や小売業など「業務用」に製品やサービスを提供してきた強みを活かし、一般の量販店モデルでは成し得ない「高性能な無線

LAN」を提供しています。この高い品質と接続安定性、メイド・イン・ジャパンならではの細やかさなどが評価され、現在では多くのお客様にご採用いただいています。企業や自治体、教育現場、観光地など、フルノシステムズのマーケットはますます多彩になり、拡大しています。

事例紹介

快適な無線LAN環境で、ICT学習環境をバックアップ

学校や教育現場では、将来「タブレット端末が1人に1台」の時代がくると言われています。このように、ICT (情報通信技術) 機器の導入が進む教育現場に向けて、大型デジタルテレビへの動画表示や、タブレット端末の映像を電子黒板などにそのまま表示できる無線LANアクセスポイントを提供。「見る」「伝える」「共有する」を高いレベルで実現し、「誰にでもわかりやすい授業」をサポートしています。



多台数が接続した状態でも、授業を止めない安定した通信品質が評価され、現在、全国多数の教育委員会様にご採用いただいています。

「株主様工場見学会」のご報告

9月27日(火)、当社へのご理解をよりいっそう深めていただくため、「株主様工場見学会」を開催しました。当社としては初の試みでしたが、株主様から直接ご意見を伺う貴重な機会となりました。当日の様子や質疑応答の内容について、ご報告させていただきます。



「株主様工場見学会」開催概要

開催日: 2016年9月27日(火)
見学場所: 三木工場(兵庫県三木市)
対象者: 2016年2月29日現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様
※第65期 株主通信で募集



当日のスケジュール

1 会社説明・工場説明 (15分)

会社紹介の映像をご覧いただいた後、船用機器の生産工場として世界最大規模を誇る三木工場の概要について説明しました。



2 工場ご見学 (60分)

部材の受け入れから組立、検査に至る船用機器の製造工程や、品質管理の様子などをご見学いただきました。各工程では、実際に作業を担う現場の従業員が詳細を説明させていただきました。



株主様からは熱心に質問が飛び交っていました。

3 質疑応答 (20分)

事業戦略や生産体制、今後の製品展開など、さまざまな観点から貴重なご意見・ご質問を頂戴しました。当社からは、常務取締役の井澤亮三、取締役の大矢智資と藤田尚住らが出席し、ご質問にお答えしました。

●ご参加いただいた株主様からのご質問 (抜粋)

Q. 海外の部品はどのくらい使用しているのですか？
また、その信頼性は？

A. 三木工場では、10%弱の割合で海外から仕入れた部品を使用しています。このような海外製を含め、新規部品採用時にはすべて受け入れ検査を実施し、品質を検証しています。併せて、新品採用前に現地メーカーに出向き品質管理体制及び完成品の厳格な事前審査も行っています。また、自社製造工程でも全数検査を行い、高い信頼性を確保しています。

Q. 売上に対して利益率が低いように思いますが、今後どのように利益を上げていくのですか？

A. 現在、当社の売上高営業利益率は2~3%ですが、これを5%まで上げていきたいと考えています。そのために、①主軸事業における収益確保と新規事業の収益安定化、②製品を売るだけでなく、保守、換装を含めたライフサイクルサポートの実現などに取り組んでいます。

アンケートにご記入いただいたご意見・ご感想

- 多品種少量生産体制はよくできていると思います。
- トレーサビリティや作業工程、品質が良いことがよく分かりました。
- IT化が進んでいて驚きました。
- 社員教育がよくなされていることに感心しました。
- このような見学会を続けてください。

…など

今後も株主様とのさらなるコミュニケーションの充実に努めてまいります。

GPSマーカー「Dog Navi Ver.2」が「電波産業会会長表彰」を受賞

当社のGPSマーカー「Dog Navi Ver.2」が、第27回電波功績賞「電波産業会会長表彰」を受賞しました。電波功績賞は、一般社団法人電波産業会が「電波の有効利用の普及を推進するため、電波の有効利用に関して特別な功績をあげた個人又は団体」を表彰するものです。

「Dog Navi Ver.2」は、主に狩猟者の方々が、猟犬の位置を的確に把握するために使用されています。今回の表彰理由について同会では、「無線通信分野において、高性能アンテナと高感度受信技術の開発により、150MHz帯を利用した猟犬のGPS位置情報と吠え声の音声情報を一端末でともに通信できる電波法適合の猟犬用GPSマーカーを国内で初めて開発、実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した」としています。



表彰式の様子

狩猟者端末 型式 [HT-01]

猟犬端末 型式 [DG-01]

NAPA社と船舶運航のデジタル化支援に関する協業を開始

当社はフィンランドのNAPA社と、全世界の船舶運航に関するデジタル化をサポートするサービスの販売、開発、事業化を共同で推進していくことに合意しました。NAPA社が提供する2種類の運航支援ソフトウェアを共同で販売するとともに、当社の船用電子機器、衛星通信サービスと、NAPA社の電子データ収集・レポート・分析に関するソフトウェア技術を組み合わせることで、船舶運航の効率化や船員の業務生産性向上、陸上における船舶管理業務の最適化に貢献します。

NAPA社について

船舶設計、運航管理に関するソフトウェア、サービス、データ解析で、約30年間にわたり第一線で活躍してきたグローバル企業です。アジア、ヨーロッパ、アメリカにグローバルなサポート体制を確立しており、現在までに船舶設計ソフトウェアは約400の企業・機関に、運航支援ソフトウェアは2,000隻以上の船舶に採用されています。



当社の小池宗之専務(左)と、NAPA社のJuha Heikinheimo社長(右)

株式の概況/会社の概況

株式の状況 (2016年8月31日現在)

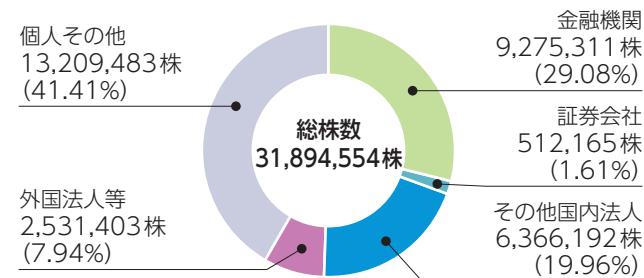
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
自己株式	382,628株
株主数	6,021名

大株主の状況 (2016年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,386	13.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,289	4.09
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
古野電気取引先持株会	987	3.13
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	795	2.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	648	2.06
エコ興産有限公司	560	1.78
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	481	1.53

※持株比率は、自己株式382,628株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2016年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式382,628株(1.20%)を含んでおります。

会社概要 (2016年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,922名(連結) 1,733名(個別)

役員 (2016年8月31日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	小池 宗之
常務取締役	井澤 亮三
常務取締役	石原 眞次
常務取締役	和田 豊
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
取締役	藤田 尚住
社外取締役	寺山 孝男
社外取締役	樋口 英雄
常勤監査役	坂井 譲
社外監査役	小美野 廣行
社外監査役	村中 徹

配当金の推移

